

市政懇談会(飯岡公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月30日(土)19:30~20:57

参加者：83名(市民 68名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
1	<p>・ファミリーハイツ内で発生している法面の崩落現場の修復について、想定外の事態が発生し、追加工事のための再調査や追加費用が必要となった。また、緊急処置を施した後工事を中断することにもなった。工事費用を、ファミリーハイツ自治会単位で捻出することは、大変困難である。まもなく台風シーズンが来る。工事途中の現状のままでは、法面が崩落するのではないかと、危機感を抱いている。地域防災の観点からも、更なる厚い支援を願いたい。</p>	<p>【建設部長】 ・前自治会長の経過報告の通りだと思います。市としても、法面が民間の開発法面ということから、まずは開発業者による対策をお願いしたいところです。当該破産管財人も、このままの状態では残余財産の清算はできないとの判断をしたことから、破産管財人と裁判所の協議により工事費が捻出でき、安全対策が完了するものと思っていました。 ところが、工事中の梅雨前線豪雨や、安定しない土質の影響で、予定の法面の安全対策工事を実施することが出来なくなり、市としても自治会、工事業者と同様に、今後の対策に苦慮している状況です。今後も、市として何らかの方法で、この法面の安定が確保できるまで、できる限りの協力をしたいと思います。</p> <p>【市長】 ・大勢の皆様がお住まいですので、市も皆さんでやってくださいというわけにはいきませんので、市としても、破産管財人等とも協議をさせていただきます。危険な状況で、大変な不安を抱えているということは十分わかっています。上位機関とも協議をさせていただき、引き続いて市も積極的に関与し、少しでも早く解決できるような方策を探っていきたいと思っています。</p>	—	・建設部
2	<p>・下水道の整備状況について、平成26年2月にオレンジハイツに対する進捗状況を確認させてもらった。平成26年度から工事を進め、平成30年までにオレンジハイツの下島山側の入り口までやる。その後5年かけて、オレンジハイツの団地内まで進み、それから平成35年で完了と聞いたが、現在の進捗状況を聞きたい。</p>	<p>【生活環境部長】 ・オレンジハイツ方向に向けた進捗状況ですが、平成26年度においては、管路の延長で350メートルを実施しました。平成27年度は130メートル実施しています。平成28年度においてはバイパス周辺を除いて、バイパスまでの残りの分と、バイパスからオレンジハイツ方向へ350メートル進めたいと考えています。残りがオレンジハイツの入り口まで約1キロメートルとなります。平成29年度では、バイパスの周辺約90メートルを施工させていただきます。残りオレンジハイツの入り口まで900メートルを平成30年度で対応させていただき、それ以降、オレンジハイツ内の施工を進めたいと考えています。平成35年度完成に向けて進めております。</p> <p>【市長】 ・管の老朽化の心配もありますが、1年でも早く優先して進めていきたいと思っています。</p>	—	・生活環境部
3	<p>・議員定数の検討について、昔から検討する委員は市議だけでやっているが、一般市民も入れて協議してもらいたい。</p>	<p>【市長】 ・現在、全国的に、議員定数の検討は市議会の議論の中で行っています。県議会議員定数も県議会の中で議論しています。 このことは、本市議会の議会活性化特別委員会の中でも、いろいろと協議はされました。本委員会においても、現在30名の定数を26名にする提案がされましたが、10名ぐらいが賛成で17名ぐらいが反対でした。削減に向けて賛成の人が一人もいなかった訳ではありません。一般の市民の方も入れて、民間の検討委員会に任すべきではないかという意見については、議会なり、国の方に繋いでいきたいと思っています。</p>	<p>・議会基本条例を制定する予定であり、その中で検討しています。</p>	・議会事務局

市政懇談会(飯岡公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月30日(土)19:30~20:57

参加者：83名(市民 68名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
4	・市議会議員選挙でのポスター掲示は、費用の無駄ではないか。何十枚も張って、費用対効果はどうなのか。税金からの支出なので、検討してはどうか。	<p>【市長】</p> <p>・若い人はSNSなどを見ていて、ポスターを見ないという人がいます。しかし、ポスターを見られる年配の人もいるので、必要性はあると思いますが、おっしゃることもよくわかります。選挙管理委員会に伝えます。</p>	<p>・ご指摘の件に関し、公職選挙法における「ポスター掲示場の設置基準の見直し」について、平成27年度に四国地区の市選挙管理委員会が組織する、全国市区選挙管理委員会連合会四国支部で協議し、総務省への要望事項として提出しています。</p> <p>・概要は、市町村合併により、大幅に設置数が増加するなど、経費面での問題を含めポスター掲示場数の適正化について、見直しを図る時期がきているとし、有権者が候補者を知る手段としては、多くの自治体では選挙公報が発行されていることや、インターネットによる選挙運動ができることから、最低限のポスター掲示場の数で十分であるとの内容です。</p> <p>・また、過去にも同様の内容で、北信越支部等からも提案されており、現在は総務省への要望事項として引き続き検討する事項となっております。</p> <p>・今回頂いたご意見については、問題意識をもって取り組みたいと思いますので、ご理解の程、よろしくお願い致します。</p>	・選挙管理委員会
5	・8月の市報にも出ていたが、自治会加入促進に向けた方策は？という内容が議会で質問されていた。その方法を市議会からも提案してはどうか。	<p>【市長】</p> <p>・議会質問については、議会にこのようなご意見があったことをお伝えします。市民の皆さんのために、必要なことはやっていきたいので、議員の皆さんからも、どんどん提案していただきたいという思いがあります。</p>	—	・議会事務局
6	・市議会議員の中で、防災士の資格を持っているのは何名か。	<p>【市長】</p> <p>・西条市では、消防で実務訓練、3日間の研修と試験を受けられた防災士が、800名程度います。そのうち女性は93名です。</p> <p>・西条市は、人口からすると、防災士の数が圧倒的に多く、非常に先進的な地域です。全国で1番ぐらいではないかと思いますが、それでも地域によっては、まだまだ足りないところもあります。今年80名、これから3年間で240名の養成を考えています。今年は、80名のうち女性が30名、男性は小学校の先生方、そういう立場の方にも取ってもらおうと考えています。</p> <p>【市民安全部長】</p> <p>・市議会議員の防災士の数は、5~6名ぐらいの方が資格を取られているのではないかと思います。議員の皆さんも、防災のことには非常に興味を持っていただいて、被災地の視察とか、いろいろな資料を取り寄せていただいて、アドバイスもいただいております。防災士の資格を取ってもらうことについても、これから相談させていただきます。大所高所の立場で、防災について検討していただいていると考えております。</p>	—	・市民安全部

市政懇談会(飯岡公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月30日(土)19:30~20:57

参加者：83名(市民 68名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
7	<p>・防災士の活動について、飯岡地区防災士会は、連合自治会等から補助をもらって運営が来ている。しかし、他の地区の防災士会の話を見ると、活動資金に困っているようだ。市からそのような防災士会に助成が出きないか。</p>	<p>【市民安全部長】</p> <p>・防災士会に対する補助については、飯岡地区のように連合自治会から一定額補助され、啓発用の横断幕を作ったり、いろいろと頑張っていただいておりますが、そのようなところは珍しいと思います。防災士会と連合自治会の立ち位置がはっきりしてない校区とか、校区によって活動の頻度も違うし、まとまりも違います。地域の中で、防災士と連合自治会なり自主防災会が、どういう形で関わって、防災について取り組んでいくかについて、話し合いから初めていただいて、飯岡のような活動が各校区で出てきたら、それに必要な支援を市の方で考えていきたいと思っております。いろいろとご意見をいただきたいと思っております。</p>	—	・市民安全部
8	<p>・オレンジハイツの南側にJRを跨いでいる八幡原橋があるが、2年ほど前に、オレンジハイツの防災マップの危険個所の点検ということで、南海トラフ巨大地震が来たら、この橋はもたないというアドバイスもらった。しかし、先般、自治会長が市役所に行った時は、その橋は崩落しないという回答だった。南海トラフ地震が起きても大丈夫なのか。</p>	<p>【建設部長】</p> <p>・八幡原橋については、JRを跨ぐ跨線橋なので、耐震補強をする計画があります。今までには、氷見の跨線橋、その次に、国道鷹丸線へ福武から入っている跨線橋、現在は、水都橋の耐震補強をやっています。それ以外にも市道を跨ぐ跨線橋がありますので、順次実施していく予定です。時期については、手元に資料がないのでわかりませんが、対応はするようになっていきます。</p>	<p>・八幡原橋の耐震補強工事は、平成30年度に実施予定としております。</p> <p>・なお、本橋は定期的に近接点検を行っており、現在のところ、橋の健全度に問題はない状態であることを確認しております。</p>	・建設部
9	<p>・先ほどの意見の橋の続きだが、市役所で橋の件は問題ないと聞いたので、自治会の定例会で皆さんに伝えた。同じ市役所の中で、どうして意見が違うのか理解できない。</p> <p>・どの部署も丁寧に説明してくれる。一生懸命にやってくれていると感じている。感謝の気持ちを持っている。</p>	<p>【建設部長】</p> <p>・橋が大丈夫かどうかについて、市の担当者が言ったのは、長寿命化計画についての健全度、すなわちクラックが入っているか等言えば問題ないということでした。さらに地震が来た時の、落橋については、装置を付ける作業は行うという意味です。</p> <p>【市長】</p> <p>・もう少し丁寧な説明が必要です。せっかく市役所まで心配して来られているのに、背景や現状など、具体的に説明しないとイケません。できるだけ市民目線で丁寧に説明するように指導します。大変申し訳ありませんでした。</p>	—	・建設部
10	<p>・西条東中のグラウンドのテニスコートが2面しかない。部員も多いし、練習環境が悪いと思う。周辺にも練習するコートがないので、グラウンドを拡張してほしい。</p>	<p>【教育長】</p> <p>・不便をおかけしています。西条市内の学校を見ても、西条北中も2面しかありません。部員数が多い少ないに関わらず、全体的に不自由をかけておりますが、周りの買収は計画しておりません。効果的な練習をしてほしいとしか言えません、ご理解いただきたいと思っております。</p> <p>【市長】</p> <p>・学校の部活動では、西条北中や、西条南中等、生徒の数が多いため、対応ができていないところもあります。総合体育館や市民公園等の施設を、大人が使用するナイターまでの放課後の2、3時間を、無料で学校の生徒に使ってもらえるようにしていますので、ご利用いただきたいと思っております。</p>	—	・教育委員会管理部

市政懇談会(飯岡公民館)における意見等の概要

実施日時：平成28年7月30日(土)19:30~20:57

参加者：83名(市民 68名、職員 15名)

※「対応状況・今後の方針」の記載内容は、
市政懇談会開催日時点のものであります。

No	質問内容	お答え(概要)	対応状況・今後の方針	担当部署
11	・東部公園の建設は終了したのか。	<p>【建設部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、1.4ヘクタールのグラウンド1面、トイレがついて駐車場があり、グラウンドゴルフ、サッカー、ソフトボール、野球等の利用がされています。 ・今年度は、基本的な要望を取りまとめた計画を立て、計画に基づいて公園整備のための都市計画決定をし、来年度以降、事業化に向けて進んでいきたいと考えています。飯岡地区周辺の地区公園規模として、4ヘクタールから5ヘクタール規模のものを検討しています。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一応、中心市街地の再開発が終わったところですが、これから、東部公園や丹原中央公園等、合併時の持ち込み計画で遅れているところを予定しています。どういふものが必要か、皆さんに示させていただき、防災やスポーツ等検討して、前に進めていきたいと思っております。これからよろしくお願ひします。 	—	・建設部
12	・自治会の関係だが、補助金申請の手続きの手順がわからず、先に事業を行った後の補助申請はできないと言われたことがある。事業後に補助がもらえるように柔軟に対応してほしい。	<p>【市民安全部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活課で、集会所の整備とか改修の補助を扱っておりますが、事前に申請をしていただくということが前提です。既に行った事業に対しての補助金は出せないことになっております。毎年新しい自治会長に集まってもらい、補助制度のことについて説明しております。自治会によっては単年度で会長が変わったりしますが、引き継ぎ等をできるだけやっていただくように伝えております。補助については、新年度に向けての予算組の時に、前の年に来年の予定の調査もさせていただいておりますので、自治会の中でお話しをしていただいて、事後になってしまわないような取り組みができたと思います。今の制度では、事業後の補助はできない事となっておりますので、ご理解いただきたいと思っております。 	—	・市民安全部
13	・小中学校の耐震化率が新聞に載っていたが、西条市の70何パーセントは、市独自の耐震工事を行っているからということだが、わかりにくいので説明してほしい。	<p>【教育委員会管理部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事では西条市の耐震化率は70%強で、県下19位です。西条市は、文科省が推奨していない工法、SRF工法という柱に包帯のようにポリエステル繊維を巻き付けていく工法で柱を強化しております。文科省が推奨している工法で耐震化をしていないので、数値としては反映されていませんが、成果については、東北の地震、それから熊本地震でも、東海大学の熊本キャンパス等、SRF工法の建物は全く被害が出ていませんので、この工法には自信を持っております。西条市では、現在35棟の建物をSRF工法で耐震化をしており、その件数は文科省は認めていませんので、数値的には低いですが、市のホームページで公表している数字では、96%の耐震化が終わっております。残り西条北中、西条南中、西条西中の体育館、東予東中、西条南中の技術室は建て替えの予定になっております。熊本地震でも実証されておりますので、ご安心ください。 	—	・教育委員会管理部